

単
元
名

くふうしよう おいしい食事

教科書出版社名（開隆堂）

○ 小学校（6）年 教科等（家庭）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

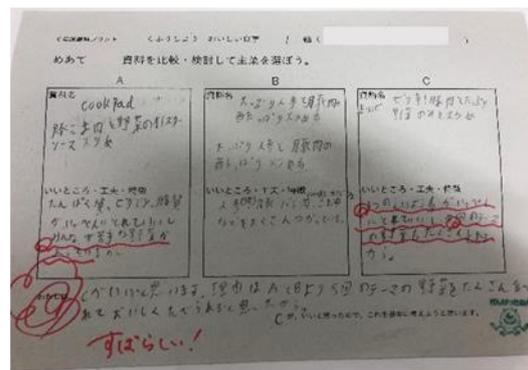
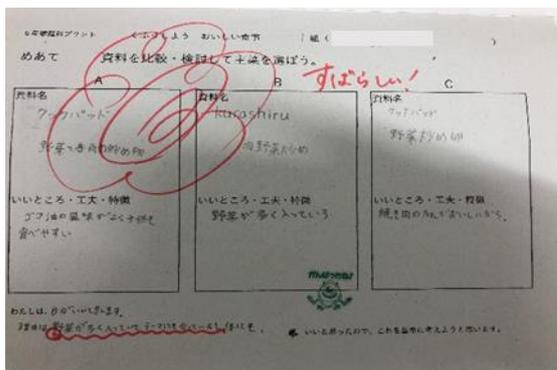
- ・栄養バランスを考慮し、資料を参考にして1食分の献立を考える力。
- ・資料を比較検討し、自分なりに理由をもって選ぶ力。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・野菜がおいしく食べられる料理についての図書資料を市内の学校や公共図書館と連携し準備する。
- ・調べ学習の際はパソコン室で学習するため、パソコン室廊下前に献立に関する図書を自由に見られるように準備しておく。
- ・学校司書やパソコンサポーターが授業に入り込み、児童一人ひとりが必要な資料を探すことができるようにする。

○ 学習の展開（全7時間）

第1次	・栄養バランスに配慮した1食分の献立を考え、調理実習をするという学習の見通しを子どもたちにもたせる。
第2次	・市が主催する給食コンクールのテーマ「やさいをおいしくたべよう」を知る。 ・給食センターから提示される条件に合わせた主菜を考え、給食コンクールに出品する。 ・教員から提示された食材のできる1食分の献立を図書やインターネットで考え、計画し、調理実習をする。
第3次	・献立作りを通して学んだことや工夫したこと、次に生かしたいことを交流し、ノートに記録する。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	・図書やインターネットを見て、同じメニューでも材料や工程がちがうものに触れ、学校給食にふさわしいものはどんなものなのか自分なりの考えをもって選ぶことができるようになった児童が多かった。
② 課題	・たくさんの情報の中から自分の考えが絞り込めずに選び取ることが難しい児童がいた。
③ 児童の感想・ふりかえり	・家でつくるものとはちがって、給食の献立ではアレルギーや作る時間に気をつけないといけないことなど、条件に合わせたものを考えることが難しかった。調理実習をするための献立は、班のみんなの好みや使える材料を考えて献立を決めることが難しかった。だけど、一つの材料でいろんな料理ができることを知っておもしろいと思ったし、今度は家で自分の好きなように作ってみたいと思った。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

・同じ献立でも食材や工程がちがうものを比べて選び取る力を身につけさせるには、多くの資料が必要になるため、学校司書が市内の小・中学校や公共図書館にどれほどの図書があるかサーチし、100冊程度準備した。
・図書やインターネットで調べるときは学校司書やパソコンサポーターが教室に入り、児童に調べ方をアドバイスできるようにした。